

2019年4月22日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 中 富 一 郎  
( 4 5 7 1 東 証 マ ザ ー ズ )  
問合せ先 取締役CSFO兼社長室長 松山哲人  
電 話 番 号 0 3 - 3 2 4 1 - 0 5 5 3

## 再生医療分野における契約締結のお知らせ

当社は、株式会社エイオンインターナショナル（本社：東京都千代田区、代表取締役会長：陳 世偉）と、国内における「Aeon Acti-PRP（以下、「本製品」という）」の販売代理店指定について契約を締結しましたので、お知らせいたします。

多血小板血漿（PRP: Platelet-Rich Plasma）は、自己の血小板に含まれる成長因子などが持つ修復能力を利用し、直接患部に注入することにより、ケガや病気の治癒を促す再生医療です。海外では、2000年頃からプロスポーツ選手の関節痛の治療などに使われおり、新しい治療法として注目されています。また、海外では産婦人科領域における不妊治療に応用されており、国内では山王病院（東京都）を中心に難治性不妊の治療にPRP療法を加える臨床研究が昨年開始され、2019年8月の受精着床学会にて最終報告が予定されています。その中間報告が、第71回日本産婦人科学会学術集会（名古屋、2019年4月）において発表され、難治性不妊の患者19例のうち5例（26.3%）で着床を確認、うち3例で出産まで至ったことが報告されました。この成績をもとに、全国どこでも安定したPRP療法を可能にすることをミッションとして産婦人科PRP研究会が発足し、2019年3月に「難治性不妊症におけるPRP治療」が、山王病院からスタートしました。当社は、本研究会に参加する医師を中心に、本製品をお届けします。

当社は、本製品の国内普及等により経営基盤の強化を図ります。尚、2020年3月期の業績への影響は、2019年5月14日に予定する2019年3月期末決算短信において、今期見通しに含めてご案内する予定です。

### ※難治性不妊症におけるPRP療法

国内において、不妊治療の重要度は年々増えています。厚労省の資料（平成30年1月）では、総出生児に対する不妊治療による出生児の割合は約2%（平成18年）から約6%（平成28年）に増加しています。国内においては、不妊治療実施件数は世界一ですが、出生率は低い水準で、その中でも7mm未満の子宮内膜では着床が非常に難しいことが知られております。PRP療法は、何度も治療し繰り返し胚を移植してもなかなか妊娠しない難治性不妊の方において、子宮内膜に働きかけ着床率を高めることが期待されています。

産婦人科PRP研究会：<https://ogprp.org/>



株式会社エイオンインターナショナル

会社概要

事業内容 : 再生医療機器の製造販売事業

設立年月日 : 2017年6月1日

資本金 : 2億円

代表者 : 代表取締役会長 陳 世偉

本店所在地 : 東京都千代田区麹町二丁目3番3号 FDC 麹町ビル 3F

URL : [theaeon.co.jp](http://theaeon.co.jp)

以上